Panasonic

パーソナルコンピューター
操作マニュアル

品番 CF-02T4GAAJ

95

説明書の構成

取扱説明書	操作マニュアル（本書）
安全上のご注意や電源を入れる/切るなどの基本操作、本機が思ったとおりに動かないなど困ったときの対処方法などについて説明しています。	画面上で参照できる電子マニュアルです。 便利な機能や省電力機能、周辺機器の拡張のしかたなどについて説明しています。 『操作マニュアル』の見かたについては、取扱説明書をご覧ください。

もくじ （取説：『取扱説明書』をご覧ください。）

ご使用前に

使いかた

基本

便利

必要なときに

困ったときは

ご使用前に

コミュニケーション

使いかた

モバイル

拡張

必要なときに

困ったときは

本書の読みかた

表記の約束

- キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。
　（例）[N み] は N や み と表記します。
- あるキーを押しながら、別のキーを押すときは、次のように「+」を使って表記します。
　（例）Fn + F6
- 「スタート」→[Windowsの終了]などは、[スタート]をクリックした後、[Windowsの終了]をクリックすることを意味します。
（内容によっては、ダブルクリックが必要であったり、ポインターを置くだけでいい場合もあります。）

使用上のお願い

・お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いません。
・本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
・お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、以下のことに注意してください。

ハードディスクのデータ保護

●コンピューターに衝撃を与えない。また、電源が入っている状態でコンピューターを持ち運ばない。
ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションが使えなくなることがあります。
コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
●Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびHDDアクセスランプ（ ）の点灯中は、電源を切らない。
●ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障・変化・消失など）に備えて定期的にバックアップをとる。
●データの機密保護としてセキュリティー機能を活用する。（→58ページ）

*正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating systemです。本書ではWindowsまたはWindows 95と表記します。

コンピューターウィルス

●最新のウィルスチェックプログラム（市販）を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮解凍後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

使用上のお願い

フロッピーディスクのデータ保護

フロッピーディスクを使用する場合は、別売りのフロッピーディスクドライブ（→69ページ）が必要です。

●フロッピーディスクドライブのランプが点灯中に、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
　フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションが使えなくなることがあります。

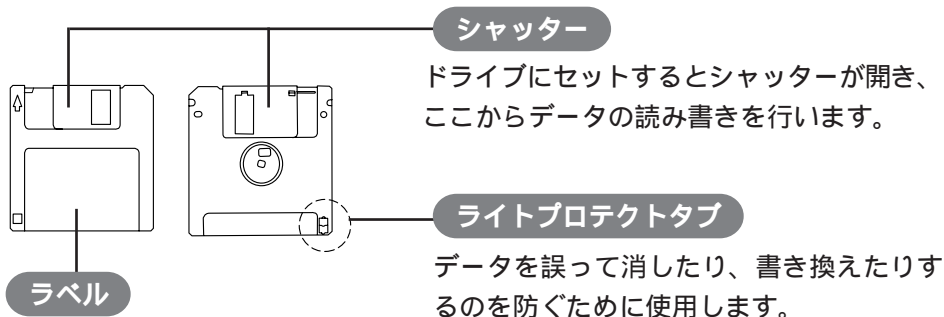
●一度使用したフロッピーディスクをフォーマット（初期化）する場合はその前に内容を確認する。
　フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。

●書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ）を使う。
　重要なデータを保存している場合におすすめします。
　これにより、データの削除や上書き保存を禁止することができます。

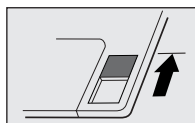
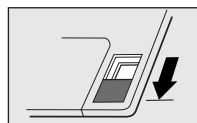
●フロッピーディスクの取り扱いに注意する。
　データの破損やフロッピーディスクが取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
　・シャッターを手で開けない
　・磁気を帯びたものを近づけない
　・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
　・ラベルを重ねて貼らない

シャッター

ドライブにセットするとシャッターが開き、ここからデータの読み書きを行います。

ラベル

保存しているデータの内容などを書いておくと便利です。

ライトプロテクトタブ

データを誤って消したり、書き換えたりするのを防ぐために使用します。

書き込み可能な状態

書き込み禁止の状態

LCDパネル（ディスプレイ）の取り扱い

●LCDパネル（ディスプレイ）は衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びの際には十分ご注意ください。また、LCDパネル部を持って、持ち運ばないでください。
●カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが、ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができることがあります。これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

お手入れのしかた

・ディスプレイ部分
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で、軽く拭いてください。
・ディスプレイ以外の部分
水または、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼって、やさしく汚れを拭き取ってください。

お願い

・ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。
・水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

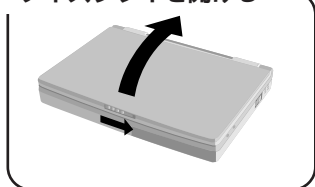
補足説明について

補足説明（[スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［オンラインマニュアル］→［補足説明]）には、本製品についての最新情報などが記載されています。あわせてご覧ください。

Windows上のオンラインサービス機能について

Windows上の各オンラインサービス機能は、大阪の電話番号の変更（市内局番4桁：平成11年1月実施）には対応していません。大阪地域に接続する場合は、別途、最新の接続プログラムを入手してください。
詳しくは、各オンラインサービス窓口にお問い合わせください。
すぐに最新のプログラムを入手できない場合：
・手動で電話番号を変更可能な場合は、市内局番の最初に「6」を付けて入力し直すと、そのまま使用できることもあります。
・一時的に大阪以外のアクセスポイントを利用するなどしてください。

各部の名称と働き

前面/右側面

市販のミニジャックタイプのコンデンサー型モノラルマイクロホンを接続します。

お願い

- コンデンサー型モノラルマイクロホンの2極プラグタイプと3極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
- **ハウリングについて**
  手を近づけたり、LCDパネルを閉じたりするとハウリングを起こす場合があります。その場合は、「ボリューム」画面で[オプション]→[プロパティ]をクリックし、「音量の調整」で、「再生」を選び、「表示するコントロール」で「マイクロフォン」にチェックマークを付けた後、「マイクロフォン」をミュートにするようにしてください。または、ハウリングを起こさないように、マイクとスピーカーの音量を適度に調節してください。

状態表示ランプ

NumLK ・CapsLK ・ScrLK 　機能時：緑色
HDDアクセスランプ 　HDD動作中：緑色
バッテリー状態表示ランプ
　バッテリーパックの充電状態を表示します。（→38ページ）
電源表示ランプ
　電源オン時：緑色
　サスペンド時：緑色点滅

パネルスイッチ

LCDパネルを閉じると、このスイッチが押されて、セットアップユーティリティーの「パネルスイッチ」の設定に従い「LCDオフ」、「サスペンド」または「ハイバーネーション」になります。（→62ページ）LCDパネルが開いている状態でスイッチを押してサスペンドまたはハイバーネーションになった場合は、電源スイッチをスライドしてリジュームしてください。

お願い

「サスペンド」に設定している場合、電源表示ランプが緑色点滅するまではLCDパネルを開けないでください。途中でLCDパネルを開けると、リジュームできない場合があります。その場合は、再度、LCDパネルを閉じた後、数秒たってからLCDパネルを開けてください。

通風孔

使用中はふさがないでください。

電源スイッチ　POWER ▶

本体電源の 入/切を切り換えます。

オーディオ出力端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、スピーカーなどを接続します。

お願い

録音時の入力レベルが小さい場合
①「ボリューム」画面で[オプション]→[プロパティ]をクリックする。
②「音量の調整」で「録音」を選び、「表示するコントロール」で「マイクロフォン」にチェックマークを付ける。
③[OK]をクリックした後、音量を調整する。
　それでも入力レベルが小さい場合は、以下の操作を行ってください。
④[オプション]をクリックし、[トーン調整]にチェックマークを付ける。
⑤[トーン]をクリックし、「1(1) 20dB　マイクロフォンゲイン」の左側の□にチェックマークを付ける。
⑥[閉じる]をクリックし、「録音」の画面を終了する。

各部の名称と働き

前面/左側面

クリックボタン
トラックボールを使って操作するとき、ここを押すとメニューの選択などができます。

PCカードスロット
PC Card Standard規格に準拠したカードをセットします。

トラックボール
ボールを前後左右に回転させると、カーソルがその方向に動きます。

底面

増設RAMスロット
RAMモジュールを装着することにより、最大128 Mバイトまでメモリー容量を拡張することができます。

リセットスイッチ
電源が入っている時、先の細いもので押すとコンピューターが再起動します。鉛筆などの折れやすいものは使用しないでください。

お願い
何らかの問題が発生して、コンピューターが操作不能状態になったとき以外は、使用しないでください。保存していないデータは失われます。

後面

IBM PS/2タイプのマウス、外部キーボードを接続します。

電源端子

付属のACアダプターのDCプラグを接続します。

赤外線通信ポート

赤外線通信を行うときに使用します。

USBコネクター

電源を入れたままで、USB対応のマウス、キーボード、プリンター、スキャナーなどいろいろな周辺機器を接続できます。
サスペンドやハイバーネーション機能を使用する場合は、デバイスマネージャの設定でUSBを使用不可に設定しておいてください。
（→50ページ）

シリアルコネクター

シリアルマウスやモデムを接続します。

外部ディスプレイなどを接続します。

パラレルコネクター

プリンターなどを接続します。

フロッピーディスクドライブコネクター

外部フロッピーディスクドライブ（別売り）を接続します。

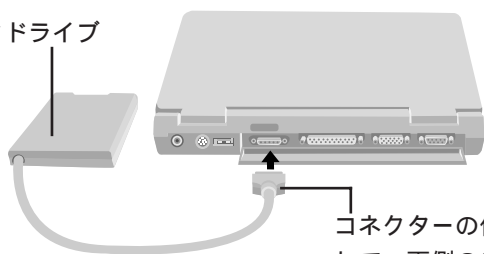
万一のトラブルに備えて

コンピューターが正常に動作しなくなったり、ハードディスクの内容が消えてしまった場合、「再インストール」と呼ばれる操作を行って、工場出荷状態に戻すことができます。再インストールには、以下の準備が必要です。
- **指定の方法でバックアップディスクを作成しておく。(→下記)**
- CD-ROM**ドライブ(別売り)を準備し、セットアップしておく。****(→13ページ)**
- **フロッピーディスクドライブ(別売り)を準備する。**

バックアップディスクを作成する

お買い上げ後すぐに、このバックアップディスクを作成し、付属の Windows 95**パックと共に大切に保管しておいてください。**
再インストールを行うために必要ないくつかのファイルをハードディスクからフロッピーディスクにコピーしておきます。
バックアップディスクには、以下のものがあります。
- **ファーストエイド**FD
- **アップデート**FD**(次ページの手順5で作成画面が表示された場合のみ)**

1 操作を終わる(→『取扱説明書』)

2 フロッピーディスクドライブを取り付ける。(詳しくは→42ページ)

3 ディスプレイを開けて電源を入れる。

Windows**の画面が表示されます。**

4 [スタート]をクリックし、[プログラム]→[Panasonic]の順にポインターを置き、[バックアップディスク作成]をクリックする。

5 バックアップディスクを順に作成する。

画面の指示に従って操作してください。
作成したバックアップディスクには、それぞれフロッピーディスクラベルを貼ってください。

お願い

- フロッピーディスクドライブのランプ点灯中に、フロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。また、サスペンドやハイバーネーション機能を使用しないでください。
- バックアップディスクの作成中は、その他のアプリケーションプログラムは実行しないでください。（ウィルスチェック等の常駐ソフトは解除してください。）
- バックアップディスクの作成中に「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、[OK]を選んで操作を終了し、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
- ディスク作成後、再起動するときに時間がかかることがあります。

◆CD-ROMドライブをセットアップする

再インストール時には、CD-ROMドライブ（別売り）が必要です。再インストールが必要となったときのために、使用するCD-ROMドライブにあわせて、「ファーストエイドFD」の設定をしておいてください。（→次ページ）

準備するもの

- できあがった「ファーストエイドFD」
- 付属の「プロダクトリカバリーCD-ROM」
- 別売りのフロッピーディスクドライブ
- 別売りのCD-ROMドライブ[*1]（推奨品：下記パナソニック製ドライブ）

PD/CD-ROMドライブ
　LF-1500J[*2]/JDN,LF-1600JB[*3],LF-1700JB[*3]
CD-ROMプレーヤー
　KXL-807AN,KXL-808AN,KXL-810AN,KXL-820AN[*4],KXL-830AN
CD-R/RW ドライブ
　KXL-RW10AN[*4]
DVD-ROM ドライブ
　LK-RV8171DZ[*4]

[*1] PDドライブ、CD-ROMプレーヤーなどを総称して「CD-ROMドライブ」と呼びます。
[*2] インターフェースカード：LF-UC15を使用してください。
[*3] インターフェースカード：CF-JSC201/301（生産終了につき流通在庫限り）を使用してください。
[*4] インターフェースカードのスイッチを16 bitに設定して使用してください。

使いかた　基本

万一のトラブルに備えて

①フロッピーディスクドライブおよびCD-ROMドライブを接続する。
（フロッピーディスクドライブの接続　→42ページ
CD-ROMドライブの接続　→CD-ROMドライブに付属の説明書）

②「ファーストエイドFD」を書き込み可能な状態にしてフロッピーディスクドライブにセットし、CD-ROMドライブとコンピューターの電源を入れる。

③●推奨CD-ROMドライブをお使いのかたは
画面のメッセージに従って、使用するCD-ROMドライブを選んでください。「ファーストエイドFD」の中のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルの内容が自動的に書き換えられます。

●推奨品以外のCD-ROMドライブをお使いのかたは
「9.その他のCD-ROMドライブ」を選択してください。その後、使用するCD-ROMドライブやインターフェースカードに付属のフロッピーディスクから、「ファーストエイドFD」へ必要なドライバーをコピーし、「ファーストエイドFD」中のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルの内容を書き換えてください。
ドライブによってはカードマネージャー（カードサービスとソケットサービス）が必要なものもあります。詳しくは、ドライブやインターフェースカードに付属の説明書をご覧ください。

お願い

空き容量不足でファーストエイドFDにドライバーをコピーできない場合があります。その場合、不要な推奨ドライブのドライバーを削除してください。
（推奨ドライブのドライバー
A:\KXL808、A:\KXL810、A:\KXL820、A:\KXLRW10、A:\LF1500、A:\LF1600、A:\RV8171フォルダ内のファイル）
ただし、上記以外のファイルは削除しないでください。また、削除を行う前に「ファーストエイドFD」の複製フロッピーを作成しておくことをおすすめします。

④MS-DOSのプロンプト（A:\>）が表示されたら、「\tools\shutdown」と入力して Enter を押し Y を押す。
コンピューターの電源が切れます。

⑤コンピューターの電源を入れ、「再インストールを開始しますか」というメッセージが表示されたら、 N を押す。

お願い

必ず、 N を押してください。 Y を押すと、再インストールが始まりますのでご注意ください。

使いかた

基本

⑥「プロダクトリカバリーCD-ROM」をセットし、MS-DOSのプロンプトに続けて「dir L:」と入力して Enter を押し、Lドライブを認識できるか確認する。

お知らせ

Lドライブが認識できない場合は、下記のことを確認してください。
- CD-ROMドライブは正しく接続されているか？電源が入っているか？
- 推奨ドライブを使用している場合、前ページ手順 ③で使用するドライブを正しく選んだか？（→下記「お知らせ」）
- 推奨以外のドライブを使用している場合、必要なドライバーがそろっているか？CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が正しいか？
- KXL-820AN,KXL-RW10AN,LK-RV8171DZを使用している場合、インターフェースカードのスイッチを16 bitに設定しているか？

⑦認識できることを確認したら、「A:\>」プロンプトに続けて「\tools\shutdown」と入力して Enter を押し Y を押す。
コンピューターの電源が切れます。

お知らせ

使用するCD-ROMドライブを変更する場合などには、下記に従って操作してください。

(1)「ファーストエイドFD」をセットして、コンピューターを起動する。
（CD-ROMドライブは取り外しておいてください。）

(2)「CD-ROMドライブが見つかりません...」と表示されたら「A:\>」プロンプトに続けて「\tools\seldrv」と入力して Enter を押す。

(3)前ページ手順 ③〜④の操作の後、CD-ROMドライブを接続して、⑤〜⑦の操作を行う。

お願い

再インストール時には、「CD-ROMドライブをセットアップする」を行ったCD-ROMドライブと「ファーストエイドFD」をご使用ください。
違うものを使用すると、CD-ROMドライブを正しく認識できないため、再インストールを行うことができません。

サスペンドとハイバーネーション機能

「サスペンド」や「ハイバーネーション」機能を使って終了すると、使用状態（データ）を保持したまま、電源を切ることができます。次に電源を入れると、電源を切る前に使用していたアプリケーションソフトやファイルが画面に表示されるので、すぐに操作を始めることができます。

サスペンドとハイバーネーションの違い

	状態の保存先	立ち上がり速度	電源の供給
サスペンド	メモリー	速い	必要
ハイバーネーション	ハードディスク	やや遅い	不要

お知らせ

省電力ユーティリティーソフト「PowerPanel」（→29ページ）では、「 サスペンド」を「スタンバイ」と呼んでいます。

「サスペンド」や「ハイバーネーション」機能を使って終了する

お願い

「サスペンド」や「ハイバーネーション」機能を使う前に、念のため必要なデータは保存してください。

1 サスペンドまたはハイバーネーションを設定する。

工場出荷時には、「サスペンド」に設定されています。
①セットアップユーティリティーを起動する。（→53ページ）
②「省電力管理」メニューから「パワースイッチ」を選ぶ。
③[サスペンド]または[ハイバーネーション]に設定して、「終了」メニューを選び保存する。

2 電源スイッチをスライドする。

ピッという確認音が鳴ってから手を離すと、サスペンドまたはハイバーネーションになります。
（Fn + F4 でスピーカーをオフにしたり、Fn + F5 で音量をゼロに設定している場合、音は鳴りません。→65、66ページ）

使いかた　便利

お願い

- 電源スイッチを４秒以上スライドしたままにしないでください。４秒以上押し続けると、ピーという連続音が鳴り、サスペンドやハイバーネーションに入らず自動的に電源が切れます。（ Fn + F4 でスピーカーをオフにしたり、Fn + F5 で音量をゼロに設定している場合、音は鳴りません。）
- 処理中はマウスなど、その他のシリアルデバイスを操作しないでください。操作を再開したときシステムに認識されないことがあります。そのようなときには、本体を再起動するか、デバイスを初期化し直してください。
- 処理中は、リセットスイッチを押さないでください。保存していないデータは失われます。
- WindowsやMS-DOS以外のオペレーティングシステム（OS）ではサスペンドおよびハイバーネーションに入れないことがあります。
- 以下の場合は、サスペンド（タイムアウト機能を含む）およびハイバーネーションに入らないでください。これらの機能や周辺機器が正常に動作しない場合があります。
  - 通信ソフト動作中・ネットワーク使用中
  - オーディオの録音・再生中
  - PCカード（SCSI・ATAカード）などの周辺装置の使用中
  - フロッピーディスクドライブ・ハードディスクドライブ・CD-ROMドライブ・USB機器などの使用中
- しばらくの間使用しないときにモニターの電源を切る機能*とスクリーンセーバー（［コントロールパネル］→［画面］→［スクリーンセーバー］）の両方を設定していると、ディスプレイが正常に復帰しなかったり、サスペンドやハイバーネーションから正常にリジュームできない場合があります。
- ハイバーネーションに入るには、内蔵ハードディスク上に、メモリーデータ書き出し用として一定の領域が必要です。領域は、工場出荷時に確保してありますが、ハードディスクのパーティションを変更したときなどには、確保し直す必要があります。詳しくは、「ハイバーネーション用データ領域の作成」（→『取扱説明書』）をご覧ください。

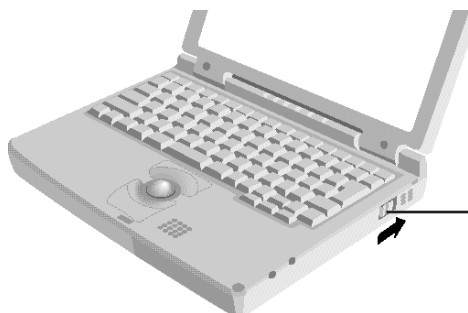
*省電力ユーティリティーソフトウェア「PowerPanel」のプロファイルで設定されているビデオスタンバイタイマー（→30ページ）

お知らせ

- Fn + F7 を押してハイバーネーションに入ることができます。
- 以下のいずれかの方法でサスペンド状態に入ることができます。
  - Fn + F10 を押す。
  - [スタート]をクリックして「サスペンド」を選ぶ。
  - タスクバーの を右（前ボタン）クリックして「スタンバイ」を選ぶ。
    省電力ユーティリティーソフト「PowerPanel」（→29ページ）では、「サスペンド」を「スタンバイ」と呼んでいます。

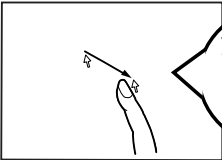
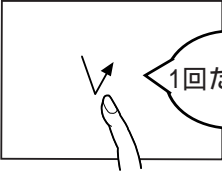
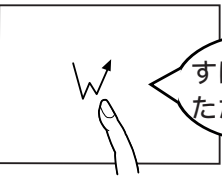
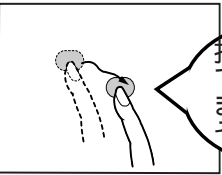
使いかた

便利

サスペンドとハイバーネーション機能

操作を再開する

サスペンドまたはハイバーネーションに入る前に使用していたアプリケーションソフトやファイルが画面に表示されます。

お知らせ

- サスペンドやハイバーネーションから次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを「リジューム」すると言います。

お願い

- Windowsが完全に起動するまで、キーボード、マウスなどを操作しないでください。
- バッテリー容量が少ない状態でサスペンドやハイバーネーションに入るとリジュームできない場合があります。その場合はACアダプターをつないでから電源を入れてください。

タッチパネルを使う

画面上を軽く指先で触れると、カーソル移動やアイコンの選択などの基本操作を行うことができます。タッチパネルの詳細設定→次ページ

- **タスクバーの （[Event Selector]アイコン）を切り換えるには：**
  をタップすると、 に切り換わります。画面上（ 以外の部分）をタップすると、 に戻ります。

機能		タッチパネルの操作
カーソル移動		触れた位置にカーソルが移動する
クリック（タップ）	のとき アイコンの選択など	1回たたく
	のとき プルダウンメニューの表示など	
ダブルクリック（ダブルタップ） プログラムの実行など		すばやく2回たたく
ドラッグ ・アイコンの移動 ・「エクスプローラ」でのファイルの移動 ・「ペイント」での描画 など		指を置いて、そのまま画面をなぞる

お願い

タッチパネル機能は、MS-DOSモードおよびセットアップユーティリティーでは使えません。

タッチパネルを使う

◆タッチパネルの詳細設定

1 タスクバーの（[Pointer Device Settings]アイコン）をクリックする。

お願い

[Port］は［Com2]に設定してください。[Com2]以外に設定すると、タッチパネル機能が動作しません。

2 必要項目を設定し、Enter を押す。

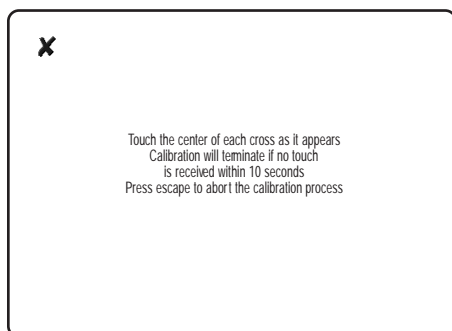
タッチパネルの補正（キャリブレーション）

画面の解像度を変更した後など、指先が触れた位置にカーソルが正しく移動しない場合は、タッチパネルを補正してください。

お願い

1024×768または1280×1024で表示すると、タッチパネル機能が正常に動作しません。

1 [スタート]→[プログラム]→[Updd]→[Calibrate]をクリックする。

Touch the center of each cross as it appears
Calibration will terminate if no touch
is received within 10 seconds
Press escape to abort the calibration process

2 ✘ を順にタップする。

左上→左下→右上→右下コーナーの順に ✘ が表示されますので、それぞれの ✘ をタップしてください。

タッチパネル（ディスプレイ）の取り扱い

- タッチパネル（ディスプレイ）の上に物を置かないでください。つめなど先のとがったもの、硬いもの、ボールペンなど跡が残るものでディスプレイを押さえないでください。
- ディスプレイの周囲（外側の黒いキャビネット部分5 mm以内）は、押さえないでください。カーソルが画面の端に移動することがあります。
- ディスプレイが油などで汚れると、指先で操作してもカーソルが正常に動作しなくなります。また、ごみなどが付着したまま操作すると、ディスプレイ表面に傷が付く原因となります。ディスプレイが汚れた場合は、メガネ拭きなどの乾いたやわらかい布で、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどは使わないでください。

LANに接続する

本機はLAN機能を内蔵しているため、LANカードなどを使用することなく、ネットワークコンピューターとして使うことができます。

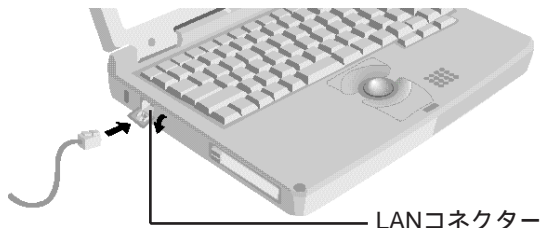
LANへの接続を行う

セットアップユーティリティー(→53ページ)の「内蔵LAN」が[有効]に設定されていること（工場出荷時は「有効」に設定されています）を確認してください。

1 操作を終わり（→『取扱説明書』）、電源が切れたことを確認する。

2 ケーブルを接続し、電源を入れる。

LANケーブルで本機とネットワークシステム（サーバー、 HUBなど)を接続します。

LANコネクター

お願い

- ネットワークを正常に動作させるために100 m未満のカテゴリー5のツイストペアケーブルを使用してください。
- コネクター部分にカバーが付いているLANケーブルは、接続できない場合があります。事前にご確認ください。

3 プロトコル等の各種設定を行う。

詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

お願い

- ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
- HUBユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワーク機能が使えない場合、以下の操作を行ってください。
  1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]を選ぶ。
  2 [Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)]をダブルクリックする。
  3 [詳細設定]を選ぶ。
  4 「プロパティ」から「Speed」を選び、「値」をお使いのHUBユニットにあった通信速度(10 Mbpsまたは100 Mbps)に設定する。
  5 [OK]で終了する。
- ネットワーク機能をお使いになる場合、サスペンドおよびハイバーネーションの機能は使用しないでください。正常に通信できない場合があります。
  また、データの転送中などにタイムアウト機能が働いてサスペンド状態になることを避けるために、省電力ユーティリティーソフトウェア「PowerPanel」の省電力機能（→29ページ）を無効にしてください。

お知らせ

- Wake Up機能
  サーバー等ネットワーク環境がWake Up機能に対応している場合、電源が入っていない本機をネットワーク上の別のコンピューターから起動することができます。
  - 必ず、ACアダプターを接続し、電力の供給が可能な状態にしてください。
  - LANが使用できる設定を行うとともに、セットアップユーティリティーの「セキュリティ」メニューで「内蔵LAN Wake Up機能」を「有効」に設定してください。(→58ページ)

詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

通信機能について

使用するブラウザーソフトウェアやメールソフトによって操作方法が異なります。
詳しくは加入したプロバイダーまたはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

お知らせ

インターネットエクスプローラーなどでインターネット（イントラネット）上のホームページを表示するとき、自動的にMIDIファイルを再生するページが正しく表示できない場合があります。正しく表示するには、別途市販の音源ソフトウェアが必要です。

赤外線通信をする

ここでは、「ケーブル接続」を使用して、赤外線通信を行う方法について説明します。

お願い

セットアップユーティリティーで「シリアルポート」の設定を変更するため、シリアルポートとの同時使用はできません。

1 互いのコンピューター上で、赤外線通信ポートを使用可能に設定しておく。

①セットアップユーティリティーを起動し、「デフォルト設定する」を選んだ後、「詳細」メニューの「シリアルポート」の「デバイス」を「赤外線」に設定し（→57ページ）、保存して終了する。
②[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[システム]をダブルクリックする。
③「デバイスマネージャ」の「ポート（COM & LPT）」の下に「ラップトップまたはデスクトップのビルトイン赤外線ポート（COM1）」があることを確認し、[OK]をクリックする。

2 Windows 95の赤外線通信ドライバーをインストールする。

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[ハードウェア]をダブルクリックする。
②「ハードウェアウィザード」が起動したら、[次へ]をクリックする。
③「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」と表示されたら、[いいえ]を選んで[次へ]をクリックする。
④「ハードウェアの種類」で[赤外線]を選び、[次へ]をクリックする。
⑤「赤外線デバイスウィザード」が起動したら、[次へ]をクリックする。
⑥「製造元」で「スタンダード赤外線デバイス」を選び、[次へ]をクリックする。
⑦ポートの選択画面で[ラップトップまたはデスクトップのビルトイン赤外線ポート(COM1)]を選び、[次へ]をクリックする。
⑧「赤外線シリアル(COM)ポート」が「COM4」となっていることを確認し、[標準のポートを使用]を選んで、[次へ]をクリックする。
赤外線通信ドライバーがセットアップされます。
⑨[完了]をクリックする。

（次ページにつづく）

赤外線通信をする

3 互いのコンピューターを赤外線通信が行えるように設置する。

設置時に気をつけること

- **お互いのポートが真正面に向きあうように設置する。**
- **ポート間の距離を20 cm～50 cmの範囲に設置する。**

お知らせ

以下のような場合正常に通信できません。
- お互いのポート間に障害物があるとき
- 近くでテレビ、ビデオ、ワイヤレス・ヘッドホン、ストーブなどが動作しているとき
- 直射日光や蛍光燈、白熱灯などの光がポートにあたっているとき

省電力ユーティリティーソフトウェア「PowerPanel」(→29ページ)による省電力機能を働かせているとき、正常に通信できない場合があります。

4 赤外線通信を行う。

通信を始める前に

- 「コントロールパネル」の「赤外線モニター」の「オプション」で「次のポートで赤外線通信を使用可能にする」にチェックマーク✓を付ける。
- 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」の「Windowsファイル」で[通信]の文字をダブルクリックし、「ダイヤルアップネットワーク」および「ケーブル接続」にチェックマーク✓が付いていることを確認する。
- 「コントロールパネル」の「ネットワーク」で[追加]をクリックし、「サービス」を選んで[追加]をクリックする。「製造元」に「Microsoft」、「ネットワークサービス」に「Microsoftネットワーク共有サービス」を選んで[OK]をクリックする。　「ネットワーク」画面で[OK]をクリックし、再起動を促すメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。
- Windowsが起動し、「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されたら、必ずユーザー名とパスワードを入力する。
- 「コントロールパネル」の「ネットワーク」で「ユーザー情報」をクリックし、「コンピュータ名」と「ワークグループ名」が入力されていることを確認する。

（次ページにつづく）

①[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[ケーブル接続]をクリックする。
②一方で[ホスト]を、もう一方で[ゲスト]を選び、[次へ]をクリックする。
③[COM4上のシリアルケーブル]を選び、[次へ]をクリックする。
[COM4上のシリアルケーブル]がないときは[新しいポートのインストール]をクリックしてみてください。
④[完了]をクリックする。
赤外線通信を開始します。

お知らせ

4 Mbpsでの転送速度で処理を行う場合、別途アプリケーションソフトウェアが必要です。

5 赤外線通信を終了する。

「ケーブル接続」ダイアログボックスで[閉じる]をクリックする。

省電力機能を使う

外出先などコンセントのない場所では、コンピューターをバッテリーだけで使うことが多くなります。次のようなことに注意して、バッテリーを効率よく使いましょう。

省電力機能のコツ！

●使わないときは電源を切る（→『取扱説明書』）

● Fn + F2 でディスプレイの明るさを調整（暗く）する
（→65ページ）
省電力ユーティリティーソフトウェア「PowerPanel™」では、ディスプレイの明るさを調整することはできません。

● Fn + F10 でサスペンド状態にしてから席を外す（→66ページ）
サスペンド状態に入ると、操作を再開するまでメモリー以外の電源が切れ、電力の消費が抑えられます。操作を再開するときは、電源スイッチをスライドしてください。

お願い
通信ソフト動作中およびネットワーク使用中は、サスペンドに入らないでください。

●省電力機能を設定する（→次ページ）
省電力ユーティリティーソフトウェア「PowerPanel ™」を設定する。

お願い
サスペンドやハイバーネーション機能を使用するときは、USBを使用不可にしてください。USBを使用可能にしていると正常に動作しません。（→50ページ）

お知らせ
「ディスクドライブ」（[コントロールパネル]→[パワーマネージメント]）の省電力モードに切り換える機能は使用しないでください。設定内容が正常に動作しない場合があります。
また、「パワーマネージメント」の「詳細」の「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」は動作しません。

PowerPanel™で省電力設定をする

PowerPanelの主な省電力機能

- **タイムアウト（タイマー）機能**
  しばらくの間コンピューターを放置したときに自動的にサスペンド状態に入ったり、LCDやハードディスクドライブの電源を切ったりすることができます。

> **お知らせ**
> **プロファイルの「ビデオ」の「スタンバイタイマー」およびインスタントコマンドの「ビデオオフ」を使ってディスプレイの電源を切った場合、タッチパネル（ディスプレイ）に触れても電源は入りません。キーまたはトラックボールを操作してください。**
> **ディスプレイの省電力機能を設定する場合は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]-[スクリーンセーバー]の「ディスプレイの省電力機能」を使用してください。**
> **（工場出荷時は、操作しない状態が15分続くとディスプレイの電源が切れる設定になっています。）**

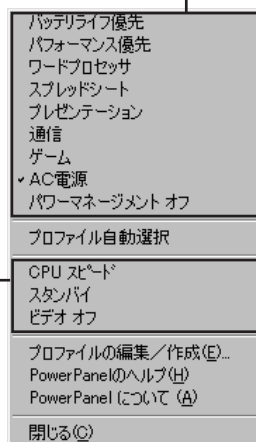
- **CPUスピード変更**
  CPUスピードを遅くして、電力の消費を抑えることができます。
  また、使用するアプリケーションソフトにあわせて、CPUスピードとタイムアウト機能を自動的に設定することもできます。（→31ページ「プロファイルの自動選択」）

◆PowerPanelメニューの表示

タスクバーのを前ボタン（マウスでは右ボタン）でクリックすると、次のようなポップアップメニューが表示されます。

プロファイル（→30ページ）
PowerPanel**は、さまざまな使用状況にあわせた省電力プロファイルを用意しています。各プロファイルごとに、CPUスピード、サスペンド状態になるまでの時間、ハードディスクの電源を切るまでの時間などが設定されています。バッテリー残量や用途にあわせてプロファイルを1つ選択してください。**

インスタントコマンド
（→32ページ）
インスタントコマンドは省電力をすぐに働かせたいときに使います。

使いかた
モバイル

省電力機能を使う

◆PowerPanelのプロファイル

「バッテリライフ優先」
バッテリーパックの長時間稼動を目的とした設定になっています。CPU速度は遅くなります。

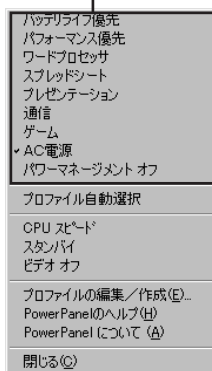
「パフォーマンス優先」
処理速度など、パフォーマンスを優先した設定になっています。

「ワードプロセッサ」「スプレッドシート」
「プレゼンテーション」「通信」「ゲーム」
それぞれワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、通信ソフト、ゲームソフトを使う場合に最適な設定になっています。

「AC電源」
ACアダプターを接続すると自動的にこの設定になります。

「パワーマネージメントオフ」
省電力機能を使用しない設定です。プロファイルの中で最も電力が消費される設定です。

使いかた

モバイル

お願い

- LAN、赤外線通信ポート、シリアルコネクターなどを使って通信を行う場合に省電力機能を使うと、データの転送中などにタイムアウト機能が働いてサスペンド状態になったり、通信が正常に行われない場合があります。通信機能を使う場合、プロファイルは「パワーマネージメントオフ」または「通信」を選んでください。
- 電源を入れたとき（再起動したとき）、ACアダプターが接続されている場合は「AC電源」、接続されていない場合は一番上段のプロファイルになります。
- ディスプレイの明るさは設定できません。必要に応じて、Fn ＋ F2 で設定してください。（→65ページ）

◆プロファイルの自動選択

起動したアプリケーションを自動判別し、最適なプロファイルに自動的に設定する機能です。例えば、Windows標準のゲームソフト「ソリティア」が起動すると、自動的に「ゲーム」のプロファイル設定で省電力機能が働きます。*

*複数起動している場合はアクティブなアプリケーションが優先されます。

お願い

ファイルのダウンロードやデータの送受信を行う場合、「プロファイル自動選択」を選ばないでください。

自動選択対象のプロファイル

ACアダプターを接続している時とバッテリーパックを使用している時で、設定を別々に保持することができます。

◆プロファイルの確認・編集

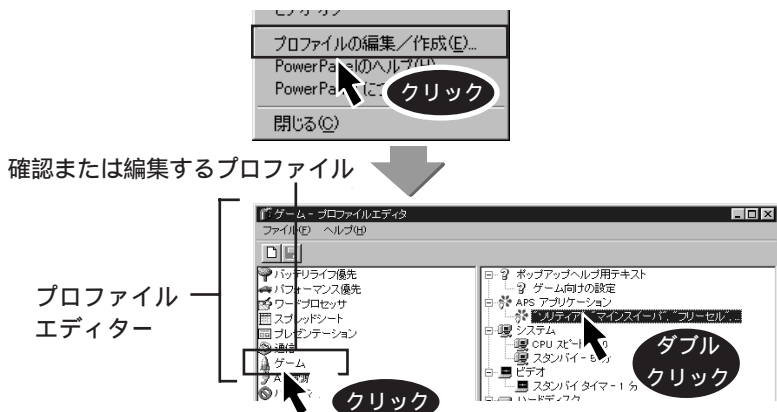
各プロファイルに登録されているCPUスピードやタイムアウト設定を変更したり、自動選択対象のプロファイル（→上記）に市販のアプリケーションを追加したりすることができます。

プロファイルにアプリケーションを追加（削除）する：

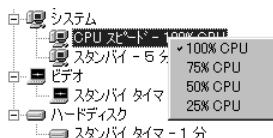
プロファイルの編集／作成(E)...
PowerPanelのヘルプ(H)
PowerPanelについて
閉じる(C)
クリック

確認または編集するプロファイル

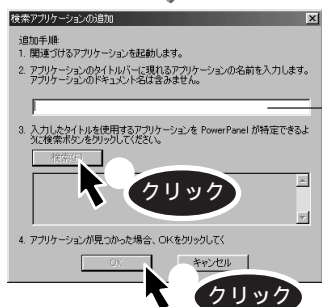
プロファイルエディター

ゲーム - プロファイルエディタ
ファイル(F) ヘルプ(H)
バッテリライフ優先
パフォーマンス優先
ワードプロセッサ
スプレッドシート
プレゼンテーション
通信
ゲーム
①クリック
ポップアップヘルプ用テキスト
ゲーム向けの設定
APS アプリケーション
"ソリティア","マインスイーパ","フリーセル",...
システム
CPU スピード
スタンバイ - 5 分
ビデオ
スタンバイ タイマ - 1 分
ハードディスク
②ダブルクリック

お知らせ

それぞれのプロファイルのCPUスピードやタイムアウト機能の設定を変更することもできます。

システム
CPU スピード - 100% CPU
スタンバイ - 5 分
ビデオ
スタンバイ タイマ
ハードディスク
スタンバイ タイマ - 1 分
100% CPU
75% CPU
50% CPU
25% CPU

お願い

「ビデオ」の「スタンバイタイマー」は設定しないでください。
（→29ページ）

省電力機能を使う

①追加するアプリケーションを起動し、タイトルバーに表示される名前のとおり入力する。（半角、全角は区別されます。）

以降、画面に従って操作してください。設定したプロファイルは、いったん、他のプロファイルを選んだ後、「プロファイル自動選択」を選ぶと有効になります。

お知らせ

- **変更した状態を工場出荷状態に戻すには：**
  1. PowerPanel**のメニューから[閉じる]を選ぶ。**
  2. **[スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選んで「**c\util\psuite\pcfsav\restore.exe**」と入力し、**[OK]**をクリックする。**
  3. **確認メッセージが表示されるので、**[OK]**をクリックし、もう一度**[OK]**をクリックする。**
  4. **[スタート]→[プログラム]→[**Phoenix PowerSuite 98**]→[**PowerPanel**]→[**PowerPanel**]を選んで、再度**PowerPanel**を起動してください。**
- **「ファイル」メニューから「新規作成」を選び、新しいプロファイルを作成することができます。**

◆インスタントコマンドを使う

4**段階の速度調節ができます。***
25%**が最も電力消費を抑えた設定です。**

プロファイル自動選択
CPU スピード
スタンバイ
ビデオ オフ
プロファイルの編集／作成(E)...

スタンバイ：すぐにサスペンド状態に入ります。サスペンド状態に入る前に、念のため作業中のファイルを保存してください。

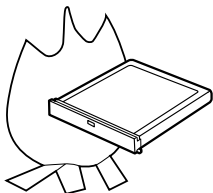
ビデオ オフ：すぐにLCD**および外部ディスプレイの電源を切ります。ディスプレイの電源を入れるには、キーまたはトラックボールを操作してください。**

*インスタントコマンドで設定したCPUスピードは現在選択されているプロファイルに登録されます。

バッテリーパックを使う

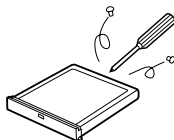
ここでは、バッテリーパックの取り扱いについての注意事項や取り付けかた、充電のしかたなどについて説明します。

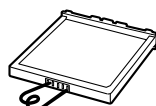
バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

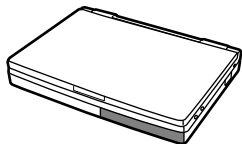
火中に投入したり加熱したりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

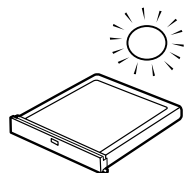
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

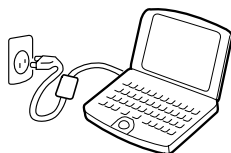
プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-02**シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。**

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、発熱･発火･破裂の原因になります。

取り扱い上のお願い

●バッテリーパックは一般のごみといっしょに廃棄しないでください。
端子をテープなどで絶縁してから、地方自治体の条例などに従い、廃棄してください。（本機のバッテリーパックは、リチウムイオン蓄電池を使用しています。）

●交換用のバッテリーパックをポケットやカバンに入れて持ち運ぶときは、端子部分がショートするのを防ぐために、ビニール袋に入れることをお薦めします。

●水などで濡らさないでください。端子がさびる原因となります。

●端子部分には触れないでください。端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。

●万一、破損によって電解液が流出し、皮膚や衣服についた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

使用温度についての留意点

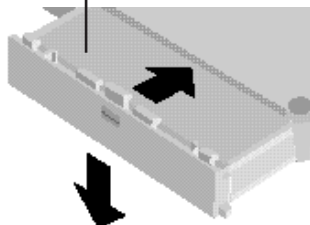
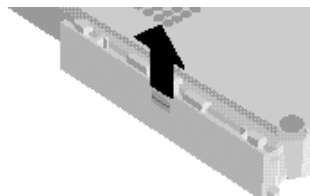
●使用環境温度5 ℃～35 ℃の範囲で操作してください。
使用環境温度が低い場合、バッテリーの稼働時間が短くなります。

●通常の使用時にあたたかくなることがありますが、異常ではありません。

取り付けかた/取り外しかた

1 操作を終わり（→『取扱説明書』）、電源が切れたことを確認してACアダプターを取り外す。

2 ●バッテリーパックを取り付ける。

①バッテリーパックのカバーを矢印の方向へ下げる。
②バッテリーパックを挿入する。

③バッテリーパックのカバーを矢印の方向へ上げて閉める。

お願い

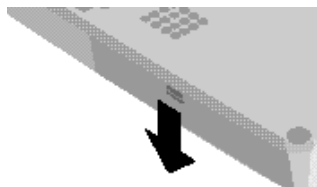
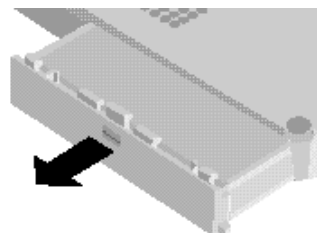
- 本機を縦にした状態では、挿入しないでください。
- 取り付け/取り外しの際にはコンピューター本体を少し上に持ち上げてください。
- 装着後、バッテリーパックのカバーがロックされたことを確認してください。

●バッテリーパックを取り外す。

①バッテリーパックのカバーを矢印の方向へ下げる。

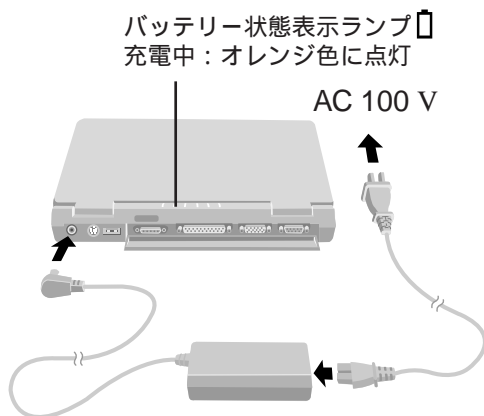
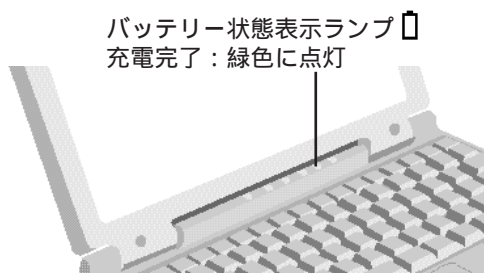
②バッテリーパックを引き出す。

使いかた

モバイル

バッテリーパックを使う

充電のしかた

付属のバッテリーパックは、工場出荷時には充電されていません。
コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

1 ACアダプターを接続する。

2 充電状態を確認する。

◆充電時間

電源		
	入	約10時間
	切	約4時間

（他の使用条件により長くかかることがあります。（低温時など））

お願い

- 充電中にACアダプターを抜かないでください。充電が完了（バッテリー状態表示ランプが緑色に点灯）してから抜いてください。
- 長期間（約1か月以上）使わない場合は、バッテリーパックの性能維持のため、30％～40％程度の充電状態でコンピューターから取り外し、冷暗所に保管してください。
- バッテリーパックを長期間放置していた場合は、使用前に必ず充電してください。この場合、通常の時間で充電が終了しないことがありますが、故障ではありません。
- **本機では過充電を防ぐため、満充電に近い状態では再充電できないようになっています。電池残量が90%前後になるまで放電してから充電するようにしてください。**
- バッテリーパックは消耗品です。バッテリーの駆動時間が著しく短くなり、充電を何度繰り返しても性能が回復しない場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいものと交換してください。
- 使用環境温度（5 ℃～35 ℃）の範囲内で充電してください。使用環境温度の範囲外では、また、使用環境温度の範囲内であっても、使用条件によりバッテリーパックの温度が高温あるいは低温になりすぎているときには、充電できない場合があります。（このとき、バッテリー状態表示ランプはオレンジ色に点滅します。）このようなときは、室温を調節したり、しばらくコンピューターの使用を控えるなどしてください。バッテリーパックの温度が範囲内に戻ると、自動的に充電が始まります。
- 充電中、バッテリー状態表示ランプが赤色に点滅した場合は、内部の保護回路が働き、充電が中止された可能性があります。このような場合は、いったん、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、再度、取り付けてください。また、このような現象が繰り返し起こる場合は、故障ということが考えられますので、お買い上げの販売店、または「ご相談窓口」にご相談ください。

バッテリーパックを使う

バッテリー状態表示ランプについて

バッテリー状態表示ランプの状態	充電状態
オレンジ色に点灯	充電中
緑色に点灯	充電完了
赤色に点灯	・バッテリー残量なし 充電が必要です。すぐにACアダプターを接続してください。ACアダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windowsも終了して電源表示ランプが消えていることを確認してください。 ・バッテリーの電圧低下 →下記「お願い」
オレンジ色に点滅	充電できない バッテリーパックの温度が使用環境温度の範囲外にあるため、充電できません。充電可能な温度に戻してから、再度、充電を始めてください。
赤色に点滅	バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。再度正しく装着し直してください。それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
消灯	バッテリーパックが装着されていません。あるいはACアダプターが接続されていません。

お願い

電圧低下による赤色点灯について

ACアダプターを接続しない状態で、消費電力の大きい周辺機器（コンピューター本体からPCカード経由で電源供給されるCD-ROMドライブなど）を使用した場合、バッテリー残量表示では十分あるにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯することがあります。これは、周辺機器の使用でバッテリーの電圧が急激に下がり、バッテリーの保護機能が働いたために起こる現象で異常ではありません。このような場合には、必要なデータは保存し、すぐにACアダプターを接続してください。

バッテリー残量の確認

バッテリーのみで使用することが多い場合、こまめに残量確認するようにしてください。バッテリー残量が少なくなったら、ACアダプターを接続してください。
バッテリー残量を確認するには、以下の3つの方法があります。

・キー操作（Fn + F9）で残量確認する。
・電源のプロパティで残量確認する。
・バッテリー状態表示ランプで確認する。（→前ページ）

お知らせ

電源が切れている状態でも、約0.1 Wの電力を消費します。満充電していても約10日間でバッテリー残量がなくなります。

◆キー操作（Fn + F9）による残量確認

電源が入っている状態でFnキーを押しながらF9キーを押している間、画面上にバッテリーの残量を示すアイコンが表示されます。

バッテリー装着時（の一例）

78%

バッテリー未装着時

（数値と、実際の残量は多少異なる場合があります。）

◆電源のプロパティによる残量確認

[コントロールパネル]→[パワーマネージメント]を選んで確認することができます。

使いかた

モバイル

バッテリーパックを使う

バッテリー容量を正確に表示させるために

本機のバッテリーパックには、バッテリー容量を計測し、記憶・学習するための機能があります。この機能を正しく働かせて、バッテリー残量を正確に表示させるため、以下の手順に従って、満充電→完全放電→満充電の操作を行ってください。
この操作は、お買い上げ後、一度は行っておいてください。また、長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合も、再度、この操作を行ってください。

1 バッテリーパック装着後、ACアダプターを接続する。

キー操作による残量表示では、100%と表示されるのに、バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し続ける場合があります。異常ではありませんので、そのまま緑色になるまで充電を続けてください。

お願い

下記手順*2*の操作が完了するまでは、ACアダプターを取り外さないでください。バッテリー容量を正しく計測できなくなります。

2 バッテリー状態表示ランプが緑色になったら、放電ツールを実行する。

お願い

放電ツール実行後、自動的に電源が切れるまではコンピューターを操作しないでください。

①[スタート]→[Windowsの終了]→[MS-DOSモードで再起動する]を選んで、[OK]をクリックする。
②MS-DOSのプロンプト（C:\WINDOWS>）に続けて、以下のように入力する。

c:\util\battref2 /g [Enter]

③確認のメッセージが表示されたら [Y] を押す。

使いかた
モバイル

バッテリー表示ランプが消灯する

↓

バッテリー表示ランプが赤点灯する

↓

自動的にコンピューターの電源が切れる

満充電状態で放電ツールを実行した場合、自動的に電源が切れるまでに約2時間かかります。

↓

充電が開始する

バッテリー状態表示ランプがオレンジ色点灯したら、コンピューターの電源を入れて使うことができます。

お願い

- バッテリー状態表示ランプがオレンジ色点滅する場合があります。しばらくするとオレンジ色点灯に変わりますので、そのままお待ちください。
- バッテリー状態表示ランプが緑色になるまでACアダプターを取り外さないでください。

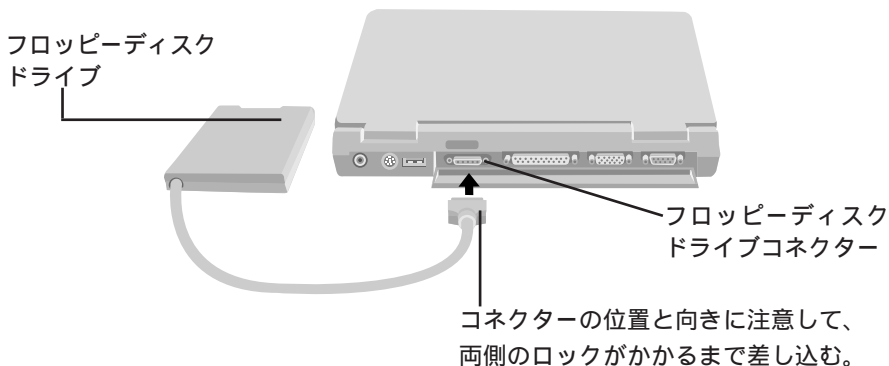
周辺機器を拡張する

ここでは、別売りの周辺機器（フロッピーディスクドライブ、外部ディスプレイ、プリンターなど）の接続のしかた、PCカードのセットのしかたなどについて説明します。

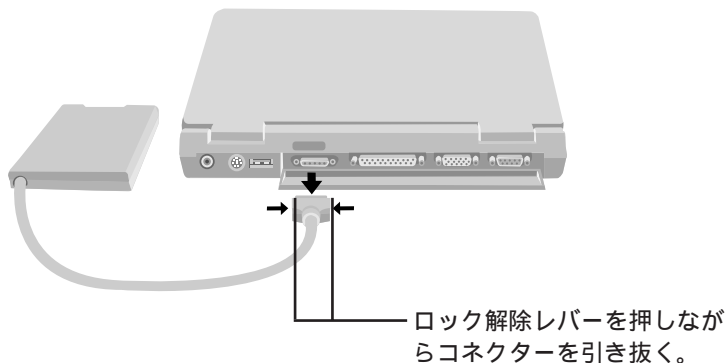
フロッピーディスクドライブを取り付ける／取り外す

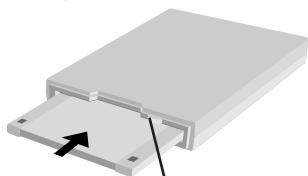
フロッピーディスクを使用するときは、フロッピーディスクドライブ（品番:CF-VFDU01）を取り付けてください。

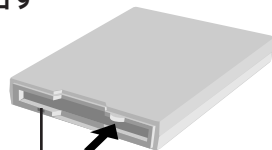
1 操作を終わり（→『取扱説明書』）、電源が切れたことを確認する。

2 ●フロッピーディスクドライブを取り付ける。

●フロッピーディスクドライブを取り外す。

使いかた

拡張

◆フロッピーディスクのセット/取り出し

セットする

フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入する。

取り出す

ドライブアクセスランプが点灯していないことを確認した後、取り出しボタンを押す。

お願い

- ドライブアクセスランプ点灯中はフロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れる恐れがあります。
- フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときや保管しておくときには、必ず、フロッピーディスクは取り出してください。

お知らせ

- **「読み出し」・「書き込み」とは**
  フロッピーディスクのデータを本体のメモリー上に送ることを「読み出し」、メモリー上のデータをフロッピーディスクに送り、記録することを「書き込み」といいます。
- **フォーマット**
  新しいディスクは、磁気的に区画整理する必要があります。この作業を「フォーマット」（初期化）といいます。
- **使用できるフロッピーディスクの種類と記録容量**
  フロッピーディスクには「2HD」と「2DD」の２種類があります。それぞれの記憶容量は次のとおりです。
  2HD　－ 1.44 Mバイト/1.2 Mバイト
  2DD　－ 720 Kバイト
  1.2 Mバイトのフロッピーディスクを読み書きするには、ドライバープログラムをインストールする必要があります。詳しくは、「1.2 Mバイトのフロッピーディスクの読み書き」（→52ページ）をご覧ください。

周辺機器を拡張する

プリンターを使う（別売り）

1 **操作を終わる。**(→『取扱説明書』)

2 **プリンターを本機に接続する。**

3 **プリンター、本機の順に電源を入れる。**

4 **プリンターの設定をする。**

[スタート]→[設定]→[プリンタ]をクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックして、使用するプリンターを追加した後、プリンターのアイコンを選んで、[ファイル]→[通常使うプリンタに設定]をクリックする。

お知らせ

プリンターに付属のドライバーディスクが必要になる場合があります。画面に表示されるメッセージまたはプリンターに付属の説明書に従って操作してください。

外部ディスプレイを使う

1 操作を終わる。（→『取扱説明書』）

2 外部ディスプレイを本機に接続する。
（外部ディスプレイの設定・準備について
→外部ディスプレイに付属の説明書）

ディスプレイコネクター

3 外部ディスプレイ、本機の順に電源を入れる。
（表示先の切り換え→56,65ページ）

4 モニターの設定をする。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[画面]をダブルクリックして、[ディスプレイの詳細]→[詳細プロパティ]→[モニター]で設定する。
プラグ＆プレイでないモニターを接続した場合、[変更]を選んでモニターの設定を行ってください。

お知らせ

本機には、デュアルディスプレイモードの機能はありません。

周辺機器を拡張する

RAMモジュールを使う

現在のメモリー容量は、セットアップユーティリティーの「メイン」メニュー（→55ページ）で確認することができます。
工場出荷時は、64 Mバイトのメモリーが搭載されています。さらに64 MバイトのRAMモジュール（別売り）を増設することによってメモリー容量を拡張することができます。RAMモジュールを増設または取り外す場合は、以下の手順に従って操作してください。

お願い

RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、端子などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などにも触れないでください。

1 **操作を終わる。(→『取扱説明書』)**

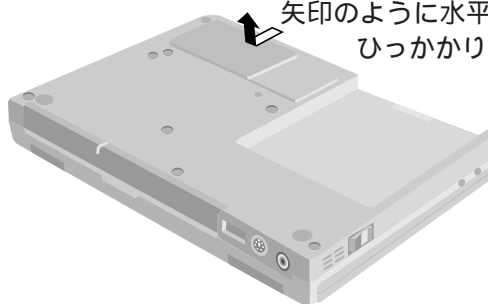
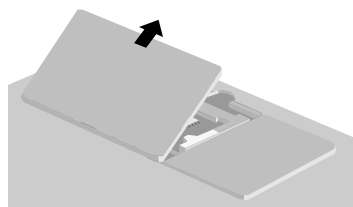
お願い

サスペンドやハイバーネーションのときは、機器の取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、正常に動作しないことがあります。

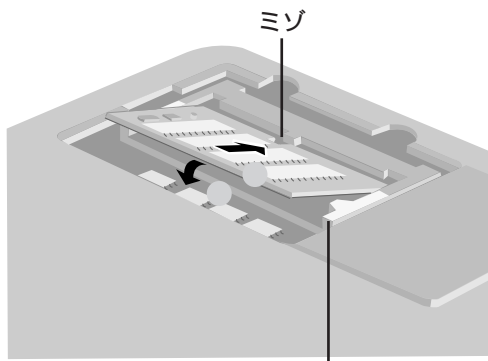
2 **電源が切れたことを確認して、ACアダプターを取り外す。**

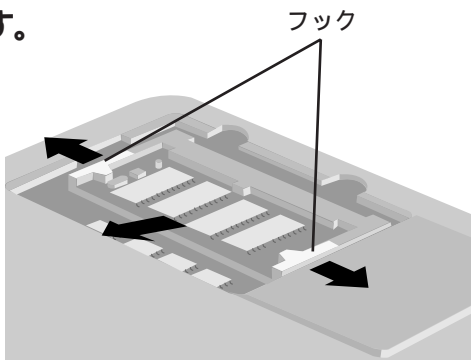
3 **バッテリーパックを取り外す。(→35ページ)**

4 **本体裏面のカバーを取り外す。**

使いかた
拡張

5 ●RAMモジュールを取り付ける。

お願い

向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。

フック（左右にあります）がかかり、ロックされていることを確認する。

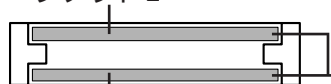
●RAMモジュールを取り外す。

6 カバーを取り付ける。

7 バッテリーパックやACアダプターを取り付ける。

8 コンピューターの電源を入れる。

周辺機器を拡張する

PCカードを使う

本機にはPCカード用スロットが2つあります。
PCカードを使うことにより通信機能を利用したり、SCSI機器などの周辺機器を接続することができます。
カードは厚みによってタイプⅠ（3.3 mm）、タイプⅡ（5.0 mm）、タイプⅢ（10.5 mm）の３つの種類に分けられます。

お願い

- ご使用の前に、必ず、PCカードの消費電力を確認してください。PCカードスロットの許容電流（２スロット合計の許容電流：3.3 Vで900 mA/5 Vで600 mA）を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- タイプⅠおよびタイプⅡのPCカードでも、種類によっては２枚同時に使えない場合があります。
- PCカードの操作方法は、PCカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- サスペンドやハイバーネーション時には、取り付け・取り外しは行わないでください。
- 本機はZVカードには対応していません。

CardBusタイプのカード使用時のお願い

- CardBusタイプ以外のカードとは同時に使用しないでください。
- 以下の場合、必ず電源を切ってから操作してください。
  ：もう１枚CardBusタイプのカードを取り付けるとき
  ：カードを交換するとき

ネットワークカード使用時のお願い

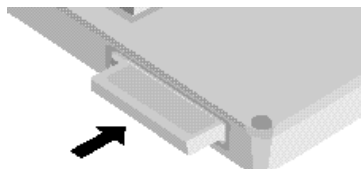
- 取り外す際は、必ず電源を切ってから操作してください。

使いかた

拡張

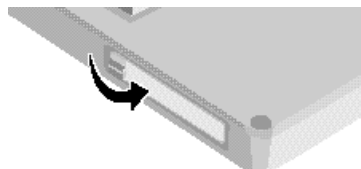
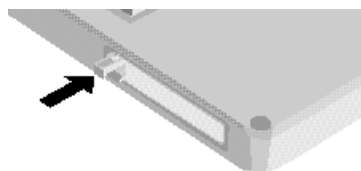
◆PCカードの取り付け／取り出し

●PCカードを取り付けるとき

カードをPCカードスロットにしっかりと差し込む。

●PCカードを取り出すとき

お願い

カードを取り出す場合は、下記手順に従ってまず、カードの使用を終了してください。
①「コントロールパネル」の[PCカード(PCMCIA)]をダブルクリックし、「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」画面で取り出すPCカードを選んで、[終了]をクリックする。
②「このデバイスは安全に取りはずせます」というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックし、もう一度[OK]をクリックして「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」画面を閉じる。

①取り出しボタンの折れ曲がり部分を起こす。

②取り出しボタンを押す。
カードが少し出てきますので、取り出してください。

周辺機器を拡張する

USB機器を使う

USB機器を使用する場合は、デバイスマネージャの設定でUSBを使用可能に設定してください。（工場出荷時は、使用不可に設定されています。）

お願い

- USBを使用可能に設定している状態でサスペンドやハイバーネーション機能を使用しないでください。正常に動作しなくなります。
- デバイスマネージャの設定でUSBの設定を変更する前に、フロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外してください。
  （周辺機器を接続したまま操作すると、コンピューターが正常に動作しなくなる場合があります。）

USBのデバイスマネージャの設定方法

①「コントロールパネル」の[システム]をダブルクリックする。

②「デバイスマネージャ」をクリックし「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下の「Intel(r) 82440MX USB Universal Host Controller」を選んで[プロパティ]をクリックする。

③●USBを使用可能にする場合
「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックマーク✓を外す。
●USBを使用不可にする場合
「このハードウェア環境で使用不可にする」にチェックマーク✓を付ける。

④[OK]をクリックし、「システムのプロパティ」の画面で[閉じる]をクリックする。

⑤[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、「再起動する」を選択して[OK]をクリックする。

（次ページにつづく）

USB機器の動作が不安定な場合

フロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外してから、下記操作を行ってください。（接続したまま操作すると、コンピューターが正常に動作しなくなる場合があります。）

①[スタート] →[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「名前」に「c:\util\usb\usbupd2.exe」と入力して[OK]をクリックする。

・「バージョンの競合」画面が表示されたら、「はい」を選んでください。

②[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、「再起動する」を選んで[OK]をクリックする。

③「コントロールパネル」の[システム]をダブルクリックする。

④[デバイスマネージャ]をクリックし、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下の「Intel(r) 82440MX USB Universal Host Controller」を選んで、[プロパティ]をクリックする。

⑤[リソース]をクリックして、自動設定のチェックマーク✓が外れていることを確認する。

お知らせ

自動設定にチェックマーク✓がある場合

①「自動設定」のチェックマーク✓を外す。

②「I/Oポートアドレス」を選んだ後、「設定の変更」を選んで ↑ ↓ で値を「FC20-FC3F」に変更する。「競合デバイスなし」であることを確認して[OK]をクリックする。

③もう一度[OK]をクリックし、「リソースの設定がいくつか手動で調整されています。…続行しますか？」と表示されたら[はい]をクリックし、「システムのプロパティ」画面で[閉じる]をクリックする。

④[スタート]→[Windowsの終了]をクリックして、「再起動する」を選んで[OK]をクリックする。
コンピューターが再起動します。

ただし、USB機器によっては（HUBユニットなど）、上記の操作を行っても、正常に動作しないものもあります。（Windowsの終了が正常にできないときには、USB機器を取り外してから終了操作を行うようにしてください。）

1.2 Mバイトのフロッピーディスクの読み書き

1.2 Mバイトのフロッピーディスクを読み書きする場合は、以下の手順に従ってWindows用の３モードFDドライバーをインストールしてください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順に選び、[ハードウェア]をダブルクリックする。
2 「ハードウェアウィザード」画面で[次へ]をクリックする。
3 [いいえ]を選んで[次へ]をクリックする。
4 「ハードウェアの種類」で[フロッピーディスクコントローラ]をクリックして、[次へ]をクリックする。
5 [ディスク使用]をクリックし、「配布ファイルのコピー元」に「c:\util\drivers\3mode」と入力して[OK]をクリックする。
6 「パナソニック ３モードフロッピーディスク」が表示されていることを確認し、[次へ]をクリックする。
7 [完了]をクリックする。
8 ファイルのコピー画面で、「ファイルのコピー元」に「c:\util\drivers\3mode」と入力されていることを確認し[OK]をクリックする。
9 「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。

セットアップユーティリティー

ここでは、動作環境を設定するためのユーティリティー（セットアップユーティリティー）について説明します。

起動する

1 Windowsを終了して再起動する。

[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、[再起動する]を選んで[OK]をクリックする。

2 「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに F2 を押す。

お知らせ

- F2 を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティーは起動しません。その場合、Windowsを終了して再度やり直してください。
- [パスワードを入力してください]が表示されたら、パスワードを入力してください。

  ただし、ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方が設定されている場合は、ここでユーザーパスワードを入力すると、下記の設定を行うことができません。
  - 詳細メニュー（→57ページ）
  - セキュリティメニューの[ユーザーパスワード設定]以外
  - 終了メニューの[デフォルト設定する]

  すべてのメニューや項目を表示するには、スーパーバイザーパスワードを入力する必要があります。

セットアップユーティリティー

キー操作

下記のキーのうち、画面下側に表示されているものが使用できます。

F1 :一般ヘルプが画面に表示されます

↑ ↓ :カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。

← → :「メイン」「詳細」「セキュリティ」「省電力管理」「終了」の各メニューを選ぶときに使用します。

F5 F6 :各項目の設定値を選ぶときに使用します。

Enter : ↑ ↓ で項目を選んだ後に押すと、各設定項目のサブメニュー画面が表示されます。

F10 :設定を保存して終了します。

Esc :「終了」メニューが表示されます。

Tab :日時設定のとき、カーソルの移動に使用します。

終了する

1 「終了」を選ぶ。

2 設定を保存して終了するか、保存せずに終了するかを選び、Enter を押す。

詳しくは63ページをご覧ください。
コンピューターが再起動し、Windowsが起動します。

メインメニュー

現在のメモリー容量やBIOSのバージョンなどを確認することができます。

コンピューターに設定されている日付と時刻を確認できます。
また、設定を変更することができます。

BIOS バージョン:	Vx.xx.Lxx
システム時間:	[xx:xx:xx]
システム日付:	[xxxx/xx/xx]
メモリーサイズ:	xxxxx KB
ハードディスク:	xxxxMB
NumLock:	[オフ]
トラックボール:	[有効]
スピーカー:	[有効]
ディスプレイ:	[外部ディスプレイ]
拡張表示:	[無効]

56ページ

上記はデフォルト設定です。

640×480サイズの画面をLCDいっぱいに拡張して表示する拡張表示機能の[有効]または[無効]を設定します。

スピーカーの[有効]または[無効]を設定します。

トラックボールの[有効]または[無効]を設定します。外部マウスが正常に動作しない場合は、[無効]に設定してください。

起動時にテンキー（キー上に青色で印刷された数字など）による入力を[オン]にするか[オフ]にするかを設定します。

セットアップユーティリティー

◆ディスプレイ

起動時、どのディスプレイに表示するかを[内部LCD][外部ディスプレイ][同時表示]の中から選びます。[外部ディスプレイ]や[同時表示]に設定していても、起動時に外部ディスプレイが接続されていない場合は、内部LCD表示となります。

表示可能な解像度・色数

	ディスプレイ設定		
	外部ディスプレイ	内部LCD	同時表示
640×480 16色	○	○*1	○*1
640×480 256色	○	○*1	○*1
640×480 65,536色（High Color）	○	○*1	○*1
640×480 約1,600万色（True Color）	○	○*1*2	○*1*2
800×600 256色	○	○	○
800×600 65,536色（High Color）	○	○	○
800×600 約1,600万色（True Color）	○	○*2	○*2
1024×768 256色	○	○*3	○*3
1024×768 65,536色（High Color）	○	○*3	○*3
1024×768 約1,600万色（True Color）	○	○*2*3	○*2*3
1280×1024 256色	○	○*3	○*3

*1 画面の中央に小さく表示されますが、セットアップユーティリティーで「拡張表示」(→55ページ)に設定すると画面いっぱいに表示することができます。

*2 内部LCDには、約1,600万色までの表示が可能です。ディザリング機能を使用して実現しています。

*3 画面全体の一部（800×600の範囲）が表示されます。
カーソルを画面の端に移動すると、画面表示がスクロールします。

お知らせ

Fn ＋ F3 で表示先を切り換えることもできます。

詳細メニュー

それぞれのポートの設定を行います。

プラグ＆プレイ：	[使用する]
シリアルポート:	[3F8/IRQ4]
デバイス:	[シリアルコネクター]
タッチパネル:	[2F8/IRQ3]
パラレルポート:	[378]
モード:	[ECP]
内蔵 LAN：	[有効]
レガシー USB：	[使用しない]

上記はデフォルト設定です。

レガシーUSB機器*1を[使用する]か[使用しない]かを設定します。

内蔵LANを[有効]または[無効]に設定します。

パラレルポートのデータ送信方向を[ECP]、[EPP]、[単方向]、[双方向]のいずれかに設定し

パラレルポートのポート設定*2を[378]または[無効]に設定します。

タッチパネルのポート設定を[2F8/IRQ3]または[無効]に設定します。

シリアルポートで使用するデバイスを[シリアルコネクター]または[赤外線]に設定します。

シリアルポートのポート設定*2を[3F8/IRQ4]または[無効]に設定します。

プラグ＆プレイのOSを[使用する]か[使用しない]かを設定します。

*1電源を入れた後、Windowsが起動していない状態でも動作するUSB機器（マウス、キーボードなど）のことです。

*2割り込み要求(IRQ)とIOポートアドレス

セキュリティメニュー

システムを起動するドライブを[A:/C:]または[C:]に設定します。

フロッピーディスクドライブの操作の[有効]または[無効]を設定します。[*1]

起動ドライブ:	[A:/C:]
フロッピー操作:	[有効]
内蔵 LAN Wake Up 機能:	[無効]
▶スーパーバイザーパスワード設定:	[Enter]
ユーザーパスワード保護:	[保護しない]
▶ユーザーパスワード設定:	[Enter]

上記はデフォルト設定です。

スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。コンピューターの起動およびセットアップユーティリティーの起動をパスワードによって機密保護します。

ユーザーパスワードの変更を禁止します。

コンピューターの起動およびセットアップユーティリティーの起動をパスワードによって機密保護します。

Wake Up機能の[有効]または[無効]を設定します。[*2] (→61ページ)
この機能を使用するにはLANによるWake Up機能が可能なネットワーク環境である必要があります。

*1「起動ドライブ」が[A:/C:]のとき、[有効]に設定されます。
*2詳細メニューで「内蔵LAN」を[無効]にした場合は設定できません。

◆パスワードの設定のしかた

1 セットアップユーティリティーを起動する。 （→53ページ）

2 「セキュリティ」メニューを選び[スーパーバイザーパスワード設定]または[ユーザーパスワード設定]*を選んで Enter を押す。

＊ユーザーパスワードはスーパーバイザーパスワードを設定している場合のみ設定できます。

3 パスワードを設定する。

変更する場合は、現在のパスワードが必要です。

① 「新しいパスワードを入力してください」の[　　　　]欄にパスワードを入力し、Enter を押す。
② 「新しいパスワードを確認してください」の[　　　　]欄に手順①で入力したパスワードを入力し、Enter を押す。

お願い

- 入力したパスワードは画面に表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大７文字までです。大文字、小文字の区別はありません。
- Shift や Ctrl およびスペースキーなどの特殊キーとあわせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字は、キーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- パスワードは忘れないようにしてください。忘れたパスワードを解除する方法はありません。
- ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードを同じパスワードにした場合、スーパーバイザーパスワードとして扱われます。

4 Enter を押す。

5 セットアップユーティリティーを終了する。 （→54ページ）

◆登録済みのパスワードを無効にする

現在のパスワードを入力したあと、新しいパスワードに Enter のみ入力してください。

お願い

無断でパスワードを変更されることを避けるために

- セットアップユーティリティーを起動したままコンピューターから離れないでください。
- 「ユーザーパスワード保護」を「保護する」に設定してください。（→58ページ）

◆パスワードを設定時の起動

以下のようにパスワードの入力を促します。

セットアップ
ユーティリティー起動時： パスワードを入力してください。[ ]

コンピューター起動時：

お願い

- コンピューター起動時のパスワード要求はユーザーパスワードを設定している場合に表示されます。
- **パスワードの入力を3回間違えると**
  - 電源オン時には、電源が切れます。
  - サスペンド状態からのリジューム時には、サスペンド状態に戻ります。
  - ハイバーネーションからのリジューム時には、ハイバーネーションに戻ります。

◆内蔵LAN Wake Up機能について

ネットワークサーバーからコンピューターの電源を自動的に入れる機能です。この機能を使用するにはLANによるWake Up機能が可能なネットワーク環境である必要があります。

お願い

LCDパネルが閉じられている状態で、セットアップユーティリティーの「省電力管理」メニューの「パネルスイッチ」が「サスペンド」または「ハイバーネーション」に設定されているとこの機能は使用できません。

セットアップユーティリティー

省電力管理メニュー

電源オン時に、コンピューターの電源スイッチをスライドしたときの動作を[サスペンド][ハイバーネーション][パワーオフ]のいずれかに設定します。

パワースイッチ:	**[サスペンド]**
パネルスイッチ：	**[LCD オフ]**

LCD**パネルを閉じたときの動作を**[LCD**オフ][サスペンド][ハイバーネーションン]のいずれかに設定します。**

＜サスペンドを選んだ場合＞

LCD**パネルを閉じると、サスペンド状態になる。**

↓

LCD**パネルを開けると、リジュームする。**

（LCD**パネルを閉じる以外の方法でサスペンド状態にした場合は、** LCD**パネルを開いてもリジュームしません。）**

＜ハイバーネーションを選んだ場合＞

LCD**パネルを閉じると、ハイバーネーション状態になる。**

↓

LCD**パネルを開けて電源スイッチをスライドしたら、リジュームする。**

＜LCD**オフを選んだ場合＞**

LCD**パネルを閉じると、**LCD**の電源が切れる。**

↓

LCD**パネルを開けると、**LCD**の電源が入る。**

お知らせ

LCD**パネルを閉じる以外の方法でサスペンド状態にした場合は、**LCD**パネルを開いてもリジュームしません。**
また、Windows**は独自で省電力を制御する機能を持っているため、[サスペンド]または[ハイバーネーション]にできない場合もあります。**

終了メニュー

設定を保存して終了
設定を保存しないで終了
デフォルト設定する
設定を戻す
設定を保存する

変更前の設定に戻します。

標準設定にします。(工場出荷状態)＊

＊ ユーザーパスワードでセットアップユーティリティーを起動した場合、この項目は表示されません。

お願い

ユーザーパスワードが有効になっている場合は、Windowsが起動するまでにパスワードの入力が必要です。

キーボードの操作

特殊キー

Esc 、ScrLk ：アプリケーションソフトによって機能が異なります。

NumLk ：Shift を押しながら押して、テンキーを有効にするかどうかを切り換えます。有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。

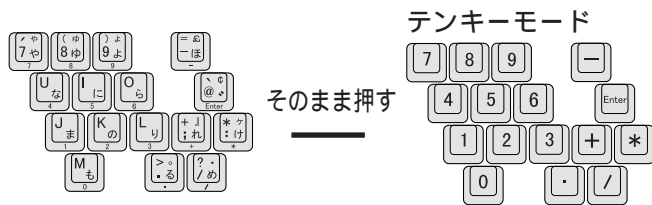
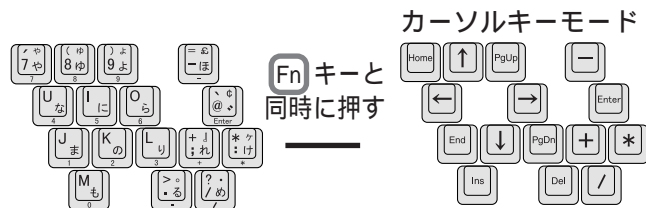
＜NumLkインジケーター点灯時：テンキー有効時＞

テンキーモード

＜NumLkインジケーター消灯時：テンキー無効時＞

カーソルキーモード

Fn キーと同時に押す

End PgDn ＋ ＊ Ins Del /

Pause/Break ：プログラムの実行を中断します。続行する場合は、任意のキーを押してください。Ctrl を押しながら押した場合は、プログラムの実行を中止します。

CapsLock/英数 ：英数字入力になります。Shift を押しながら押した場合は、CapsLock状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。CapsLock状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、Shift を押しながらアルファベットキーを押すと小文字入力になります。

Enter ：コンピューターに対して、コマンドやデータが入力されます。

Shift ：通常、このキーを押しながらアルファベットキーを押すと、大文字入力になります。また、このキーを押しながら数字キーか特殊キーを押すと、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。

Ctrl 、Alt ：このキーを押しながら他のキーを押すと、特殊機能が有効になります。このキーを押しながら他の特殊キーを押した場合、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

キーコンビネーション

Fn を押しながら下記のキーを押すことによって、特殊機能が有効になります。この操作を「ホットキー」と呼びます。

Fn ＋ F2 ：LCDバックライトの輝度を切り換えます。キーを押すごとに5段階で輝度が切り換わります。
輝度が最大(明)のときには、のアイコンが表示されます。
ACアダプターが接続されている状態と接続されていない状態のそれぞれの明るさを記憶させることができます。

Fn ＋ F3 ：画面表示の表示先を切り換えます。キーを押すごとに（内部LCD→同時表示→外部ディスプレイ）の順に表示先が切り換わります。外部ディスプレイが接続されていない場合でも切り換え 処理が行われます。

Fn ＋ F4 ：内蔵スピーカーから出る音を消します。
再度押すと元に戻ります。

また、Fn ＋ F5 あるいは Fn ＋ F6 が押されると、自動的にスピーカーオンの状態になります。

お知らせ

「ボリューム」パネル(→8ページ)でミュートや音量ゼロにしている場合、スピーカーオンでも音は出ません。

必要なときに

キーボードの操作

Fn + F5　：内蔵スピーカーボリュームを下げます。

Fn + F6　：内蔵スピーカーボリュームを上げます。

Fn + F7　：本機をハイバーネーションにします。

Fn + F9　：バッテリーの残量が、画面にアイコン表示されます。
(詳しくは→39ページ)

Fn + F10　：本機をサスペンド状態にします。

お願い

- システム起動中、あるいはサスペンドやハイバーネーション処理を実行中は一部のホットキーは使用できません。
- 高速なシリアル通信中などにホットキーを使用すると、通信エラーになることがあります。通信中はホットキーを使用しないでください。
- 音声再生、録音中にホットキーを使用すると、音がみだれることがあります。
- Fn + F3 および Fn + F4 で変更した設定は一時的なものです。再起動後はセットアップユーティリティーで設定されている状態に戻ります。

お知らせ

画面全体をクリップボードにコピーするには、Fn + F12 を押してください。また、選択されているウィンドウのみをコピーするには、Fn + Alt + F12 を押してください。

トラックボールの操作設定

詳細設定

MouseWareプログラムを使用すると、トラックボールの動作に関して詳細な設定ができるようになります。設定の手順は次のとおりです。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[マウス]をダブルクリックする。

2 「マウスのプロパティ」画面が表示されたら各設定を行う。
主な設定内容

●「動作」の「スマートムーブ」を設定すると、ダイアログボックスのデフォルトボタンにポインタを自動的に合わせることができます。
工場出荷時には、「スマートムーブ」は設定されていません。

●「ボタン」では、以下の3とおりについてボタンの機能を設定できます。

- 「前ボタン」を押したとき（項目３）
- 「後ボタン」を押したとき（項目１）
- 「前ボタン」と「後ボタン」を同時に押したとき（項目２）

（例）「後ボタン」を「スクロールバー（水平）」に設定しておくと…
「後ボタン」を押すとアクティブウィンドウの横向きのスクロールバーにカーソルが移動します。その後は、クリックボタンを使わずに、トラックボールを回転させるだけで、スクロール操作を行うことができます。

工場出荷時には「1：クリック/選択」「２：自動スクロール」「３：コンテキスト メニュー/代替選択」に設定されています。

お知らせ

MouseWare がインストールされていると、一部の外部マウスが正常に動作しない場合があります。問題が発生した場合は、「アプリケーションの追加と削除」で「マウスウェア」を削除してください。
また、「マウスウェア」を削除した場合は、以下の手順でタッチパネルのドライバーをインストールし直してください。（「マウスウェア」を削除すると、タッチパネルのドライバーも削除されます。）

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選ぶ。

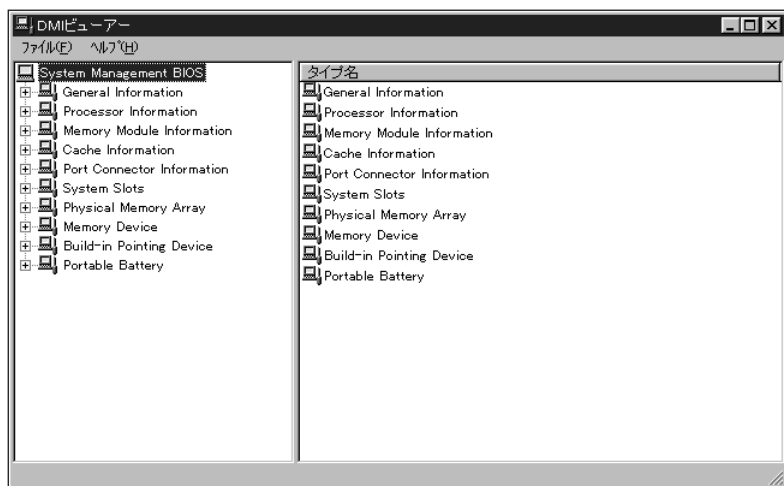
2 「c:\util\drivers\tscreen\setup.exe」と入力して[OK]を選ぶ。
以降、画面の指示に従ってください。

再度、MouseWareをインストールする場合は、『補足説明』（[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[オンラインマニュアル]→[補足説明]）をご覧ください。

DMIビューアー

本機はDMI（Desktop Management Interface）の規格に準拠しています。
CPUやメモリーをはじめ、本機がサポートしているシステムの情報を知りたいときに使います。

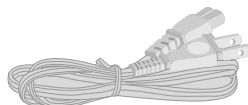
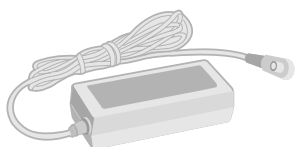
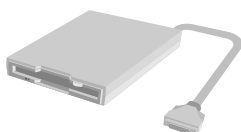
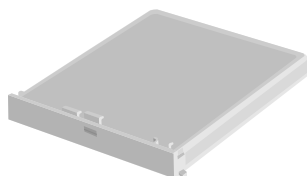
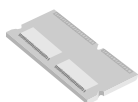
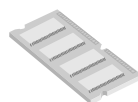
DMIビューアーを起動する

[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[DMIビューアー]を選ぶ
以下のような画面が表示されます。
項目をクリックすると詳細情報を表示します。

情報ファイルを保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）のファイルに保存することができます。
DMIビューアーを起動し、保存したい情報を表示します。

1 ●表示されている項目を保存する場合
「ファイル」メニューから「表示中のデータを保存」を選ぶ。
●すべての項目を保存する場合
「ファイル」メニューから「すべてのデータを保存」を選ぶ。

2 ファイル名（およびフォルダー）を指定し、[保存]を選ぶ。

別売り商品

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

西暦2000年問題について

本パーソナルコンピューターのハードウェア（BIOSなどのファームウェアを含む）は、西暦2000年問題についての動作確認済みです。
西暦2000年問題については、下記のインターネット上の情報などもご覧ください。

・松下電器産業株式会社のパソコンの西暦2000年問題情報
http://www.pcc.panasonic.co.jp/y2000/（1999年9月現在）
・マイクロソフト社の西暦2000年問題情報
http://www.microsoft.com/japan/year2k/（1999年9月現在）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

A